

はもりあ

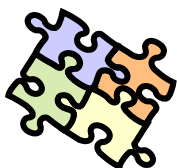
「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2010年2月1日発行

“「はもりあ四日市」の3月はおもしろらしい！”

3月に「はもりあ月間」を開催します。市民の皆さんが展示販売するチャレンジショップ、各グループ企画のワークショップの開催、グループ紹介展示、そしてはもりあ主催の講演会など盛りだくさんの内容になっています。申込み締切日が設定してある企画もあります！詳しくは、チラシをご覧ください！



男女共同参画の情報なら

“はもりあ”にまかせてください！

はもりあ四日市は、「男女共同参画についての気づきを提供できる場」、「市民と行政の協働の拠点」、「市民活動の拠点」としての役割を果たすため、学習機会の提供、情報収集・情報提供、相談機能、調査研究、市民交流の5つの機能を持っています。今回は、そのうちの情報収集・情報提供について紹介します。

【情報収集には、“ジェンダーの視点”が必要なんです！】

だれもが分け隔てなく、個人が持っている能力をいろいろな機会で発揮できる社会を実現するためには、社会的・文化的に作られてきた性差(ジェンダー)による偏見や固定的な役割分担意識を改善していくことが重要です。そのため、はもりあ四日市では、市民の皆さんが男女共同参画を学んでいく上での気づきや行動を起こすための手助けとなるような情報を収集するよう心がけています。フロアには、図書・雑誌・新聞に加え、ビデオやDVDもあります。

【蔵書は約5000冊！ 分類も独特です！】

蔵書は、高齢社会(シニアライフ・高齢者問題)、女性問題(ジェンダー、女子差別撤廃条約)、しごと(再就職・起業)、絵本など11分野に分類していて、最近では、ワーク・ライフ・バランスに関する本や、男性の育児に関する本などの収集にも力を入れています。また、利用しやすいよう貸出期間を1ヶ月間と長めに設定していますし、お子様連れの方は、情報コーナー隣の「こどものへや」でも本を読んでいただけるようにしています。

また、県内他市町のみならず、国、他都道府県の男女共同参画への取組状況等の情報も積極的に収集しており、情報コーナーで閲覧できるようになっています。

【情報発信にも力を入れています】

昨年度、市民の方から、「男女共同参画の情報は、年1回情報紙を発行するだけではなく、もっとたくさん発信してほしい」とご意見をいただいたことをきっかけに、みなさんにぜひ知ってほしいこと、四日市市が取り組んでいることをお知らせできるよう、この情報紙「はもりあ」を毎月発行しています。また、ホームページ(はもりあ四日市 検索)では、さまざまな講座情報を詳しく掲載したり、他の機関のホームページにもつながるよう工夫して、より多くの皆さんに男女共同参画に関する情報を提供できるよう更新に努めています。



＜情報コーナーの様子＞

「男女共同参画のことを勉強したい」と思っているあなた、ぜひ一度お越しください。

はもりあ月間

オープニング企画

「歡喜の歌」

上映会開催！！

3月2日に、はもりあ月間のオープニング企画として、「歡喜の歌」を上映します。

この映画は、「落語家」立川志の輔の最高傑作の一つ、新作落語「歡喜の歌」を映画化した作品です。ぜひ皆さん、ご覧ください！

忘れかけた真心を歌にのせて贈る、ハートフルな音楽コメディ

暮れも押し迫った12月30日、小さな町を揺るがす大事件は1本の電話から始まった。大晦日の公民館のホール予約をダブルブッキングしてしまった中年公務員は、合唱にかける2つのママさんコーラスグループの情熱に右往左往。懸命に練習を重ねてきたママさんたちの「歡喜の歌」は、響き渡るのでしょうか???



(C) 2008『歡喜の歌』パートナーズ

日時 3月2日(火) 13:30~15:30

場所 本町プラザ 1階ホール

定員 70名(先着順)

申込み 2月23日より受付開始

電話・FAX・メールでお申込みください。

電話(354-8331)、FAX(354-8339)、

メール (kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp)

託児あります(無料・26日までに予約が必要です)

<はもりあ四日市は、男性の育児や家事参画を推進し、子育てを楽しんでいるパパを応援しています。>

子育てパパの写真とメッセージを募集します!

みなさん、「ファザーリング」って言葉を知っていますか?

ファザーリングとは、「父親であることを楽しむ生き方」という意味の造語です。

仕事をめいっぱい頑張っているパパはカッコいい。でも、仕事も育児も両方とも大切にしているパパは、もっともっとカッコいい!! パパさんたち、もっと父親であることを楽しみましょう!

はもりあ四日市は、子育てをしているパパとお子さんが一緒に写っている写真とメッセージを募集し、3月2日~27日まで「はもりあ四日市」ミーティングフロアなどで展示します。ご応募お待ちしております。

【応募資格】 四日市市在住、在勤、在学の、現在子育て中のパパやその家族の方

【応募数】 1人3点まで

応募の際は、写っているパパや写真を撮影した方に必ず承諾を得てください。

【サイズ】 L版~A4サイズまで

【応募方法】 「子育てパパのベストショット応募申込書」にご記入のうえ、

2月20日(土)までに郵送またはご持参ください。

申込書は、ホームページからダウンロードできます。



3月27日(土)に、本町プラザ1階ホールで、

NPO法人ファザーリング・ジャパンの安藤哲也さんの講演会を開催します。

その日は、子育てパパの素敵写真たちも1階ホールに大移動します!

みなさん、見に来てください!!!

子どもにかかわってほしい

今回は、子育て世代のお母さんたちからの相談事例を取り上げます。

夫は、仕事をまじめにしてくれますが、帰宅は子どもが寝てからですし、休日は昼すぎに起きてきて、だらだらと過ごすぐらいです。わたしは、夫と子どものかかわりが、ほとんどなくていいのだからと不安です。夫に子どもと遊んでと頼むと、「俺だって休みのときぐらい自由に時間を使いたい」とケンカになってしまいます。

仕事で疲れているのはわかりますが、このままではただ稼いでくるだけの父親になってしまいます。世のお父さん族は、こんなものとあきらめたほうが、いいのでしょうか。でも、わたしがあきらめてしまったら、状況は変わらないと思うのです。何かよい知恵があれば教えてください。

プライバシーの保護のため、いくつかの事例を組み合わせ作成しています。

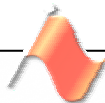
相談するなか、相談者はひとりで育児や家事をしてきた気負いから、夫が何もしてくれないと孤立感を語られました。そのうち、こんなに頑張っているのだから夫も関わるべきだと夫を非難しがちだったとご自身を振り返ってみえました。その後、夫の大変さを気づかうようになり「お互い大変だったので、傷つけあったのかもしれない。夫と話し合うところから始めます」と相談を終了しました。

はもりあ情報コーナーには、忙しい男性の皆さんにもぜひ読んでいただきたい本が、そろえてあります。仕事帰りにでも、ぜひお立ち寄りください。

はもりあ 電話相談 (☎354-8335) 火~土 9:00~12:00、13:00~16:00



今月のおすすめ本



父親が積極的に子育てや家庭にかかわると、その影響力は大きいです。子どもの健全な成長はもちろん、父親の生活力がアップし、夫婦の絆が強まり、仕事でのタイムマネジメントにも活かれます。

「パパルール」 ファザーリング・ジャパン編

父親たちが、悪戦苦闘して得た「我が家ルール」101項目が満載です。「子守唄の定番ソングを持つ」「子どもの手の小ささを感じる」「育児は仕事じゃない」など、見開き1ページで1ルールがわかります。最初はしんどくても、経験をかさねると育児は楽しくなります。もちろん、読むだけでつく^{ちから}パパ力もあります。

「男たちのワーク・ライフ・バランス」 ヒューマンリソース研究所編

働きながら子育てにも参加することになった若い男性が“働く”と“生きる”のバランスをとることに悩む姿を描いています。「オトコの本音」の一言が効いています。また、【父親タイプ診断チャート】で悩める父親たちを6つのタイプに分け、悩みに応えるヒントが示されています。働き方を変えて、夫と妻のハッピー・ライフ・バランスを目指しましょう。

今月のキーワード

パパ・クォータ制

男性の育児参画が話題になっています。

パパ・クォータ (QUOTA = 割り当て) 制はノルウェーが1993年世界で初めて実施した育児休業を男性に義務付けた制度です。ノルウェーでは、育児休業制度は早くから制度化されていましたが、育児休業を取得するのは女性が多く、出生率も低下していました。そこで、パパ・クォータ制を導入し、育児休業期間42週のうち、最低4週分の取得を父親に義務づけたのです。育児休業中の給料は100%支給されます。男性が育児休業を取得しなければ、取得義務の4週分が期間から減らされます。この制度が導入されて以降、父親の育児休業取得率は約90%に達し、出生率も増加しました。

日本では、2009年の厚生労働省調べでは、女性の約90%が育児休業を取得しているのに対して、男性の取得率は1.23%という実情です。

制度があっても、男性が職場で育児休業を取得できる環境が日本においては、まだまだ整っていないといえます。



登録グループイベント情報

- 2月12日(金) 坂倉加代子さんの子どもの本の講座 『子育てと本・本と子育て』その
外国の子育て支援のお話や四日市市や、その周辺地域の子どもの読書環境を取り巻く現状
など、子育てと子どもの本について学びます。皆様のご参加をお待ちしております。
時 10:00～12:00 費 300円 所 四日市市文化会館 第2会議室 定 30名
問・申 Can(きゃん)岡田(TEL059-352-3094 FAX059-352-3138)
- 2月19日(金) 認知症サポーター養成講座 ごきぶり団子づくり
どなたでも楽しく受講できます。初めての方も是非参加してください。
「よく効く」と評判のごきぶり団子。いっしょに作りましょう。
時 13:00～14:30 15:00～16:30 費 無料 所 はもりあ四日市 会議室 調理室
問 まんなか 金森(059-353-5893)
- 2月19日(金) 「内田百閒を読む」特異な幻想、飄逸な筆法の人
『冥途』『東京日記』『蜻蛉玉』『百鬼園日記帖』を読みます。予約は不要です。当日お越し
ください。
時 13:30～15:30 費 500円(資料代) 所 はもりあ四日市 こどものへや
問 よっかいち朗読文学の会 (TEL&FAX059-337-1873)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、大好きパパ応援団さんです。

大好きパパ応援団

代表者 池田 信愛 会員数 4名

連絡先 059-326-6989

2008年夏より、男女共同参画の勉強をしながら、楽しく活動しています。男性の子育てを応援したいと、お父さんと子どもでお好み焼きをプロの方から教わったり、そば打ち体験をしたり、夏休みの工作や男女共同参画に関するクイズ・劇の上演などを企画してきました。

参加者に喜んでいただき、少しでも男女共同参画が四日市に広まって、私たちも楽しく、と一粒で三度おいしい活動をしていきたいと考えています。一緒に活動して下さるメンバーを大募集中です。

情報紙「はもりあ」をご購読の皆様へ

いつも情報紙「はもりあ」をご覧いただき、ありがとうございます。この「はもりあ」は、事業終了後のアンケート等で情報提供を希望された皆様にお送りしています。送付が不要になりました場合はご連絡ください。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>